

狭山台中学校 3 年 小名木結稀 鈴木有紗 小名木知佳

『統合先での明るい未来』

私たちは狭山台中学校が大好きです。今年の四月、東中学校と狭山台中学校が統合し、「新生狭山台中学校」が誕生し、三年生 241 人、二年生 215 人、一年生 224 人の総勢 680 名での新たな時代を迎えました。

四月八日金曜日。これからどうなるのだろうという不安と、環境が変わることへのドキドキ感で胸がいっぱいになりました。私は、中学校生活最後の年に「なんで統合なんてするのだろう？」という疑問を持ちながらのスタートでした。

そんな中、いよいよ学級開きとなりました。統合の初日、全く慣れない環境の中、声をかけてくれたのは、私とは違う制服の子でした。そのおかげで、この先への不安がちょっとしたワクワク感に変わり、なぜこの時期に統合なんてするのだろうという疑問が、統合するならいっそ統合してよかったと思えるように、また頑張ろうと思えました。

私は現在、吹奏楽部に所属しています。今年で最後の部活動となります。四月には、一年生も入部してきました。後輩達には、よい手本を見せていけるよう頑張っていかななくてはなりません。大会や三年間のまとめのステージ、定期演奏会に向けて、三年生としての自覚がより必要になってきます。今は、夏のコンクールで県大会出場に向けて、一年・二年・三年が、一つになって演奏に汗を流しています。

さて、少しずつ学年の仲がよくなってきた反面、ある課題も見えてきました。全体的に静かにしなければならない場面でざわついてきたり、勉強がおろそかになってくるという一面が見られるようになってきました。統合し、環境が変わっても学校を引っ張っていく最上級生という立場は変わりありません。修学旅行や体育祭、音楽会を迎える上でも明るく、落ち着きのある学級・学年をこのメンバーで創り上げていかなければなりません。

では、そのために私たちは何ができるでしょうか。私は三つのことを考えました。

一つ目は、受験生としての自覚を持って、授業や家庭学習に対し、一生懸命に取り組むことです。毎日の授業を大切にすることで、落ち着いた雰囲気が生まれると思います。

二つ目は、あいさつをしっかりとすることです。「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつはもちろん、授業の初めと終わりのあいさつもしっかりすることが大切です。あいさつをしっかりと行うことで、互いに学校生活を気持ちよく送ることができると思います。

三つ目は、「ありがとう」と感謝の気持ちを周囲の人に伝えることです。私たちは一人では生きていくことができません。人の支えがあってはじめて豊かなせいかつができるからです。以上、三つのことを実践し、明るく落ち着きのある学年にしていきたいです。